

まちあるき勉強会はなぜ必要なの？

誰もが使いやすい施設や経路のバリアフリーを進めていくために、まちのバリアフリーの進み具合について、市民のみなさまと一緒に確認し、意見を出し合います。

【確認成果の活用】

- バリアフリーの取組で良くなった点や新たに気付いた点などをまとめ、市内のバリアフリーに関する取組について、市民のみなさまに広くお知らせしていきます。
- 道路や交通を管理する人たちや、鉄道やバス会社の人たちなどに、まちあるき勉強会の意見を伝え、できるところから改善していきます。
- 他の地域でも、とりまとめた意見を参考にできるようにします。

これからもこのような取組を進めます

さいたま市では、“みんなが創って育てるバリアフリーのまち”を目指して、バリアフリーの進み具合を年に1回確認します。また、これからも『まちあるき勉強会』を行い、バリアフリーの進み具合について市民のみなさまと確認していきます。さらに、バリアフリーに関する情報も積極的にお知らせしていきます。

ホームページで「さいたま市バリアフリー基本構想」を見ることができます。

さいたま市のホームページから、以下の手順で進んでください。

さいたま市のホームページ <http://www.city.saitama.jp>

- 【手順】 トップページ▷暮らし・手続き▷まちづくり・交通▷交通・道路・駐輪場▷交通政策▷さいたま市バリアフリー基本構想について

これからも、まちあるき勉強会を行った時には、このようなリーフレットを作成していきます。



さいたま市 都市局 都市計画部 交通政策課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4
電話: 048-829-1053 F AX: 048-829-1979
e-mail: kotsu-seisaku@city.saitama.lg.jp

令和元年度

さいたま市バリアフリー基本構想

取組紹介リーフレット

Barrier Free



みんなが創って育てるバリアフリーのまちづくり

『さいたま新都心・北与野地区まちあるき勉強会』を行いました！



令和元年度まちあるき勉強会は、「バリアフリー都市宣言」のまちである

<さいたま新都心駅周辺* >で行いました。

まちあるきをした場所 J R さいたま新都心駅、歩行者デッキ、東口駅前広場、さいたま新都心ふれあいプラザ

*さいたま新都心駅周辺は、重点整備地区「さいたま新都心・北与野地区」の一部の地区です

「さいたま市バリアフリー基本構想」ってなに？

バリアフリーとは、お年寄りや障害者をはじめ、妊娠している人や赤ちゃんを連れた人、けが人などが、生活していくのに障壁(バリア)となるものを取除く(フリー)ことです。

さいたま市では、平成26年3月に「さいたま市バリアフリー基本構想」をつくり、市内のバリアフリーの目標や進め方を決めて、6つの重点整備地区*でバリアフリーの取組を進めています。

*重点整備地区：鉄道駅を中心としたお年寄りや障害者などが利用する施設が多く集まる地区
大宮地区、北浦和地区、浦和地区、さいたま新都心・北与野地区、武蔵浦和地区、岩槻地区

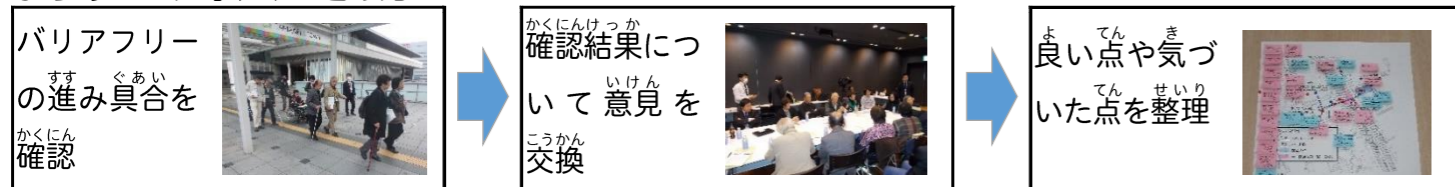
さいたま新都心駅周辺のバリアフリーの進捗とまちあるき勉強会での市民意見を紹介します！

<さいたま新都心・北与野地区まちあるき勉強会について>

実施日：令和元年11月14日 木曜日

参加者：計25名（お年寄り・障害者・育児支援などの団体代表者、大学の先生、市の職員など）

まちあるき勉強会の進め方

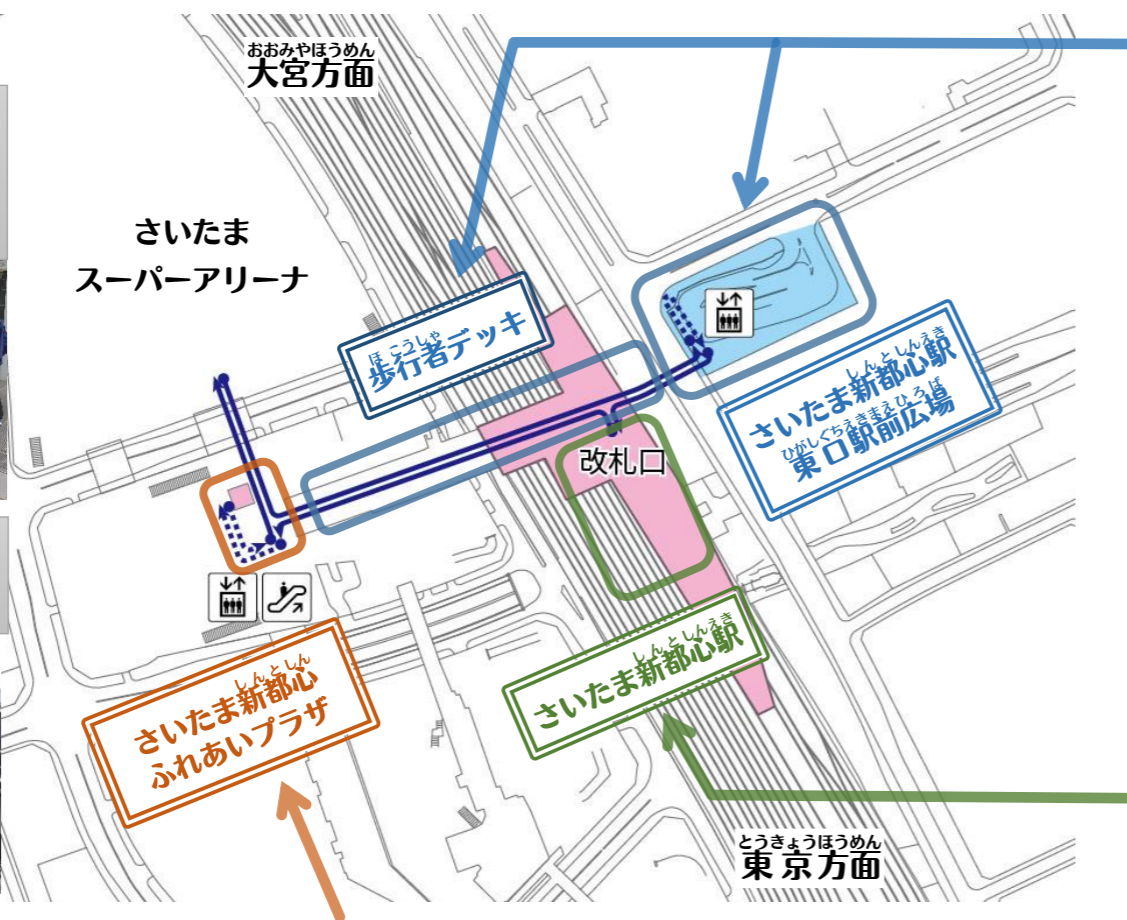


まちあるきルート

みんなで視覚障害者誘導用ブロックのルート歩いて体験しました。



ベビーカーを押すお母さんにも体験してもらいました。



さいたま新都心ふれあいプラザ

「ボランティアマネージャー」が、新都心のバリアフリーに関する活動を行っています。



ふれあいプラザを拠点に活動する「さいたま新都心バリアフリーまちづくりボランティア」は、新都心のまち案内、いろいろなイベントや小学生などのバリアフリー体験の補助などを行っています。

ふれあいプラザの取組

- 良い点
 - ベビーカーや車いすを無料で貸してくれることを知らなかった。誰でも遊びに来やすくなる。
 - ボランティアの方々の取組や情報発信は、とてもよいと思う。

歩行者デッキ・道路・駅前広場

まち全体が歩行者デッキで結ばれていて、エレベーターやエスカレーターなどもあります。

現地の状況

視覚障害者誘導用ブロックや案内のための設備など、いろいろなバリアフリー設備がありますが、つくられてから時間が経っていることもあり、部分的に壊れていたり色あせている箇所がありました。

●：良い点 ▲：気づいた点

歩きやすさ・安全性

- 平らな道が多く、子どもでも歩きやすい。
- ▲ 通路は緩い坂だが距離が長いので手すりがあると助かる。
- ▲ 誘導用ブロックの近くに柱などがあって危険。
- ▲ 駅前広場の階段の黄色い表示が薄くなっていて、わかりにくい。
- 駅前広場のエレベーターは中が広くてよい。

誘導用ブロック

- ▲ 階段の上の点状ブロックは2列が望ましい。
- ▲ 古い形の誘導用ブロックがあり、踏んでもわかりにくい。

交差点

- 警で警信号を知らせる装置がよい。

さいたま新都心駅

多くの人を訪れる大型の文化・商業施設、新しいバスターミナルや病院などの中心にある駅です。

いろいろなバリアフリー設備

駅の中は広く、エレベーターやエスカレーター、多目的トイレやベビー休憩室に加えて、市内初のほじょ犬トイレなど、いろいろな施設がたくさんあります。

●：良い点 ▲：気づいた点

駅の中・改札近くの施設

- ベビー休憩室に授乳室・鍵がかかる自動ドア・暖房などがあって、とてもよかった。
- 改札前の大型テレビは、耳の不自由な方へもいろいろな情報をお知らせできる。手話通訳もあるとよい。
- ▲ 耳の不自由な方には、エスカレーターでホームに降りた所やホームドア、改札口などに情報をお知らせする装置があるとよい。

トイレ

- 右利き用と左利き用の多目的トイレがあるなど、多くの利用者に対応していたよかった。
- 駅の中でほじょ犬用トイレ※を初めて見た。素晴らしい。

※目や耳、身体の不自由な方の生活をお手伝いする「ほじょ犬」のためのトイレです。